



千代田区自由民主党議員団 幹事

池田とものりの区政レポート

第8号
平成30年2月

To Next
Generation!

千代田の未来へ世代をつなぐ!!

身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます

これからも安心して暮らしていける千代田を目指して —— 昨年を振り返って ——

区政報告

①

「子育て文教委員会」

区立四番町保育園・児童館等施設は築後35年が経過し、設備全般の経年劣化や躯体の老朽化が進んでいるため、隣接する四番町アパート等を含めた一体的な施設整備をすすめることとしています。この建て替えに伴い、仮施設(四番町5-8)への移転が先行して進んでいます。仮施設での運営開始日は、児童館は平成30年2月5日(月)から、保育園は平成30年3月19日(月)からです。新館舎、新園舎は現在地(四番町11)に建て替えを行い、平成34年度中に完成予定です。



屋上では芝生で遊べます

区政報告

③

「公衆トイレの整備・その後」

平成28年第4回定例会にて「公衆トイレの整備」について一般質問を行いました。一部サインの改善等がされましたが、進んでいない箇所がほとんどです。2020東京大会までに加速的に取り組む事業の一つですが、公衆トイレのユニバーサル化を含め、来訪者へのおもてなしの整備をさらに進めてまいります。



まだまだ整備が必要です

区政報告

②

「2020へ向けた取り組み」

区の施設では、これまでも受動喫煙対策に取り組んできましたが、今回2020東京大会の開催を控え、改めて基本方針を定めて取り組むこととしました。これまで分煙対応してきた本庁舎その他3施設において喫煙室を廃止しました。これにより区の施設の建物内はすべて禁煙となります。路上喫煙禁止の千代田区、一方で喫煙所の設置などの整備対策も必要ではないかと主張を続けてまいります。



昨年12月より使用不可となりました

区政報告

④

「健幸麻雀の普及へ」

千代田区社会福祉協議会が主催する「千代田区いきいき健康マージャン交流祭」が九段下のホテルグランドパレスで開催されました。「かけない、吸わない、呑まない」のが健康マージャン、25卓がいっぱいになる100名の参加者で盛り上がりました。車いすの方も参加されていたように障がいを持たれている方でも心配ありません。高齢化社会でも元気で幸せに過ごす、長寿の秘訣は「健幸麻雀」、私も応援しています。優勝した方は役満をあげりました!



平成29年第4回 区議会定例会において 一般質問を行ないました!

多世代交流で孤食の解消を

【池田】 本区では人口61,000人に対して65歳以上の高齢者は10,000人を超し、そのうち一人暮らしの高齢者は3,900人になるとしています。また2025年に向けて急速な高齢化を迎える都市部では、**一人暮らしの高齢者の「孤食」**が問題になっています。さらに、核家族が増え、母親が働き近所付き合いも少なく一人で夕食を食べている子どもなど、様々な事情で家族と一緒に食事が出来ないで、寂しい思いをしている子どもも少なくないようです。できれば、友達の家を行き来したり、ご近所でご飯をご馳走になったりとは以前はよくあったこのような地域の関係を「**子ども食堂**」のような場で行うことはできたらと考えます。しかしながら、俗にいう「子ども食堂」はどうしても貧困のイメージが強く、そこに行くことに躊躇してしまうとも聞いています。そんなイメージを払拭した地域コミュニティの場、子どもだけでなく、高齢者や一人暮らしの方も利用できる、そんな**多世代にわたる人たちに、安心安全な食材を使用し、美味しく楽しく食を提供する環境が都心千代田にも必要ではないか**と強く思います。



【池田】 本区では人口61,000人に対して65歳以上の高齢者は10,000人を超し、そのうち一人暮らしの高齢者は3,900人になるとしています。また2025年に向けて急速な高齢化を迎える都市部では、**一人暮らしの高齢者の「孤食」**が問題になっています。さらに、核家族が増え、母親が働き近所付き合いも少なく一人で夕食を食べている子どもなど、様々な事情で家族と一緒に食事が出来ないで、寂しい思いをしている子どもも少なくないようです。できれば、友達の家を行き来したり、ご近所でご飯をご馳走になったりとは以前はよくあったこのような地域の関係を「**子ども食堂**」のような場で行うことはできたらと考えます。しかしながら、俗にいう「子ども食堂」はどうしても貧困のイメージが強く、そこに行くことに躊躇してしまうとも聞いています。そんなイメージを払拭した地域コミュニティの場、子どもだけでなく、高齢者や一人暮らしの方も利用できる、そんな**多世代にわたる人たちに、安心安全な食材を使用し、美味しく楽しく食を提供する環境が都心千代田にも必要ではないか**と強く思います。

そこで質問いたします。**高齢者や一人暮らしの方、さらに子どもたちの孤食の解消に向けた多世代交流の場のさらなる充実を図るために、高齢者や子どもたちのこれまでの施策を踏まえ、本区での現状の認識とこれからの課題について、お考えをお聞かせください。**

そこで質問いたします。**高齢者や一人暮らしの方、さらに子どもたちの孤食の解消に向けた多世代交流の場のさらなる充実を図るために、高齢者や子どもたちのこれまでの施策を踏まえ、本区での現状の認識とこれからの課題について、お考えをお聞かせください。**

食を通じた大使館との連携

【池田】 2020東京大会に向けて取り組み事業を絞り込み推進していく中で大使館との連携を図ることは喫緊の課題です。交流や連携の契機として、**各国の食文化を学ぶこと、食を通じて地域貢献にも発展するような交流を実施すること**を提案いたします。

また、区内のホテルレストランなどと連携して各国の食を同時に味わえる催しも実現できるのではないのでしょうか。提携している姉妹都市の食材や復興支援の一環で被災地の食材を使い各国料理を紹介することで、地方との連携も図れ、地域イベントを活用した**気運醸成事業への支援**にもつながります。その会場にオリンピック・パラリンピアンが登場し母国の料理を紹介してくれたら、まさに千代田の特性を活かした国際交流イベントにも発展するのではないのでしょうか。

2020東京大会に向けて、**大使館との連携について、どのようなお考えなのか、また交流の契機として、各国の食文化を学ぶことが有効と考えます。国際理解教育の一環としても推進しますが、お考えをお聞かせください。**

【回答】 国際競技等の開催時期に各国の料理を給食に出す等を実施している。また、大使館担当者との連絡会を開き情報交換を行い国際交流を図る。

私の質問に対する回答の「孤食」については、前向きな答弁をもらえました。食育にもつながる事業の今後の経過を見守っていきたいと思います。また「大使館との連携」についても、加速的に行っていくことを約束いただき、大会気運を高めるために自発的な事業を求めていきたいと思っています。

いい回答をいただきました!

【回答】 食事は生きる基本で、社会と繋がる機会にもなる。今回の取り組みは共生社会に不可欠。結果も踏まえ、各部で連携し孤食の解消に努める。



公式ホームページでも最新の活動を随時配信中です! ⇒ www.ikedatomonori.net

<池田とものり PROFILE>

「子育て文教委員会(常任委員会)」 「オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」 「区議会だより編集委員会」



★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業
★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業 ★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業
★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長 ★平成15年～平成26年 千代田区スポーツ推進委員
★平成25年～共立女子学園後援会副会長 ★平成26年 千代田区ドッジビー協会を設立、初代会長
★平成29年度 共立女子中学高等学校PTA会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッジビー(審判・指導資格取得)

池田とものり事務所

〒102-0084 千代田区二番町11-1 朝日サテライト二番町406
TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

池田とものり
公式アプリ
公開中!!

